まちづくり交付金　事後評価シート

古川地区

平成20年12月

岐阜県飛騨市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	飛騨市	地区名	古川地区			面積	297ha
交付期間	平成16年度～平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	8,152百万円	国費率	0.4		

1）事業の実施状況

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業（本光寺延長線、下天神町線、一之町線、大平延長線、是重15号線、二之町線、杉崎線他、西小通学線、杉崎住宅地内道路、堀川町線） 地域生活基盤施設（杉崎団地公園、駅北駐車場、古川駅北側公開空地、貯水槽、避難所）、高質空間形成施設（古川駅前広場修景施設、今宮橋修景施設） 高次都市施設（地域交流センター）、公営住宅等整備（杉崎団地）		
	提案事業	地域創造支援事業：用地費（地域交流センター、一般公共の用に供する駐車場整備）		
当初計画から削除した事業	基幹事業	公園事業（千代の松原公園）、地域生活基盤施設（蛍の里公園、まつり広場、増島城址公園、サイン整備）、公営住宅等整備（花もも団地）	岐阜県の築堤工事の開始年度との調整や、地元住民との調整において交付期間内に事業の実施が困難になったほか、事業位置の変更により名称が変更になったため削除。	削除となった事業の変わりに、新たに追加された事業があり、指標への影響は少ないと考えられるが、公園が3箇所削除となっているため、間接的な影響は考えられる。
	提案事業	なし		
新たに追加した事業	基幹事業	高次都市施設（高度情報センター）、公営住宅等整備（諏訪田団地）	事業位置の変更に伴い事業を追加したほか、地域住民のコミュニティーの場、情報発信・収集の場整備のため事業追加。	さまざまな要因により削除となった事業を補完する効果があると考えられる。
	提案事業	地域創造支援事業：用地費・造成工事費（杉崎団地、諏訪田団地）、用地費・造成工事費・園庭整備工事費他（新増島保育園）、設計費・建設費（図書館）、整備費（堀川町千電線類地中化、消防器具庫、杉崎住宅内上水道整備、杉崎住宅内下水道整備）、事業活用調査（事業効果分析調査）	基幹事業や関連事業において追加された事業において、基幹事業に分類できない用地費等を追加したほか、住宅整備などに伴う上下水道などの基盤整備を追加。	さまざまな要因により削除となった事業を補完する効果があると考えられる。
交付期間の変更	当　初	－	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	－
	変　更	－		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	定住人口	人	16,400	H15	17,000	H20	－	16,100	×	あり		定住人口の増加に直接的な効果があると考えられる住宅整備が交付期間の後半に実施されていることもあり、達成が困難となっている。	H21.4時点
										なし	●		
指標2	観光人口	人	300,000	H13	350,000	H20	－	461,000	○	あり	－	各種の道路事業や駅前広場や橋の修景整備のほか、地域交流センターの整備など観光人口の増加に繋がる整備により、目標値の達成に繋がったと考えられる。	H21.4時点
										なし	－		
指標3	空き店舗	戸	15	H15	5	H20	－	5	○	あり	－	各種事業の実施により、空き店舗数は着実に減少しており、評価値時点において目標値に達することが見込まれる。	H21.6時点
										なし	－		
										あり			
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	宅地化率	%	3.23	H15				3.38			住宅団地や公営住宅及び保育園の整備のほか、公園の整備や上下水道、消雪設備の整備など、宅地化が促進されたことにより地区内の宅地化率が増加したと考えられる。	H21.4時点

4）定性的な効果発現状況

・関連事業である、街並み環境整備事業に併せ、古川町商工会を中心に地区の中心市街地にあたる弐之町商店街の活性化に向けた取り組みや空き店舗の有効活用などの取り組みが行われている。
・降雪が多いという特徴をもつ本市において、高齢化の進行により高齢者の１人暮らしが増加している現状のなか、道路の消雪施設の整備は地区住民の生活環境の向上に繋がったと考えられる。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	地域交流センター整備の際、まちづくり検討委員会を設置し、具体的な内容や管理運営方法の検討を行った。完成後は「NPO法人ひだ文化村」を設立し、施設の管理運営等を行っている。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後もNPO法人「ひだ文化村」を中心に、地域における学術、文化、芸術の振興や活動を継続していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	古川地区では、ボランティア団体「飛騨古川夢ふるさと案内人会」が組織されており、観光客に対して観光案内を行うなど、古川地区の観光振興に寄与する活動を行っている。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も「飛騨古川夢ふるさと案内人会」を中心に、交流人口の増加に向け観光案内活動を継続していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

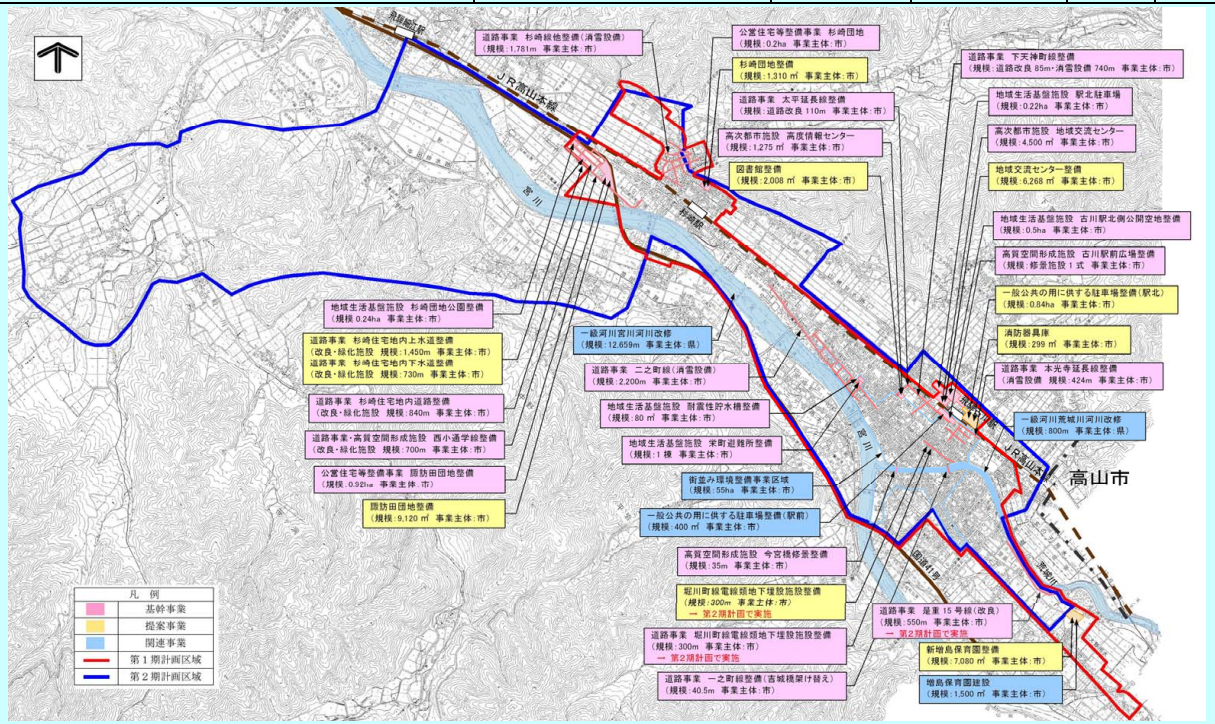
古川地区（岐阜県飛騨市）　まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：定住人口と交流人口の増加による地域の活性化 ○目標１：安全、安心で快適な住環境整備を図り、定住人口の増大を図る。 ○目標２：中心市街地の利便性の向上を図り、定住促進を図る。 ○目標３：中心市街地の交流機能強化により、交流人口を増大させ、その相乗効果により、中心市街地の賑わいを再生する。	定住人口	単位：人	16,400	H15	17,000	H20	16,100	H20
	観光人口	単位：人	300,000	H13	350,000	H20	461,00	H20
	空き店舗	単位：戸	15	H15	5	H20	5	H20
	宅地化率	単位：%	3.23	H15	－	－	3.38	H20
		単位：		H		H		H

杉崎団地公園

杉崎住宅地内道路

杉崎団地



地域交流センター

駅北駐車場

今宮橋

まちの課題の変化	・道路（消雪施設）や公園などの基盤整備のほか、図書館や保育園の整備などにより、地区の生活環境の向上が図られた。 ・住宅団地や公営住宅及び保育園の整備のほか、公園の整備や上下水道、消雪設備の整備など、定住環境の創出が図られた。 ・地域住民が集える杉崎団地公園や図書館が整備され、住民活動の活性化と場づくりが創出された。 ・飛騨古川駅周辺に新たな交流拠点として、地域交流センターが整備されたほか、市役所に隣接して整備される図書館内に高度情報センターが設置されるなど、広域交流の促進が図られた。 ・地域資源の保全と活用のため、地域交流センターの整備に合わせ、施設の管理運営を行うためNPO法人「ひだ文化村」設立されており、地域における学術、文化、芸術の振興や地域の基盤整施設や公園等を活用した社会教育の推進や子どもの健全育成に関する活動を行っている。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	■生活環境の向上を目指す ・目標の達成に至らなかった定住人口に対し、整備された宅地のビルドアップを促進していくとともに、更なる生活環境の向上に向け、道路（歩道設置や消雪施設の整備など）や公園等の基盤整備を推進する。 ・建替えが予定されている古川小学校の整備に合わせ、小学校の周辺道路の改善など、安全な歩行空間の創出を目指す。 ■防災面の強化を図る ・地区の防災面の強化を図るため、過去に浸水被害を受けた地区などの雨水排水対策を検討するとともに、防災センターや防災倉庫などの防災施設の整備を検討する。 ■歴史的な街並みを活かした、景観整備を図る ・地区の貴重な資源である歴史的な街並みを保全・活用するとともに、整備された地域交流センターを活かし、今後もNPO法人「ひだ文化村」を中心に、地域における学術、文化、芸術の振興や活動を継続していく。